



平成25年3月

Vol. 19

発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部会
印刷／株山口県農協印刷

11月17・18日に 向山下集落で〔文化展〕が開催されました



出展された作品群



美術・芸術を問わず、「人間の作り出したもの」「感動するもの」は何でも可としました。
絵画、陶芸、彫刻、写真、有名絵師の掛け軸、大切な家宝など小学生から大人まで20人、60数点の出展がありました。地区外からも述べ60数人の来場者があり大盛況の文化展でした。

向山下自治会長 有吉 一字

名田島自治会連合会10年の主なあゆみ

平成15年

名田島自治会連合会が設立されると同時に、会報の発行やゴミゼロ美化活動の取り組みがスタートしました。



平成16年

ボランティア団体（草刈り等）が誕生し、また、地産地消のアンケート調査、ごみ捨て禁止看板等が、設置されました。



平成17年

「名田島みまもり隊」が結成され、サイレンの吹鳴も再開されました。



平成21年

大雨による被害が発生し、今後に備えて水防用土砂を備蓄しました。



平成22年

自治会連合会の活動をより活発化するため、事務局体制を充実しました。通学路の防犯灯を13カ所に設置完了しました。





平成
20年

この年から「田園朝市フリーマーケット」もスタートさせました。また、タンチョウ鶴の幼鳥も飛来しました。

安全マップを作成し、全戸に配布し、安全意識の高揚を図りました。



平成
19年

自治会の活動を活発化するため、20歳以上を対象に「元気な名田島を指して」と題してアンケートを実施しました。



平成
18年

自主防災組織が設立され、8月には南総合センターへの避難訓練を行いました。子どもは地域の宝です。子どもを守るために小学生に防犯ブザーを送りました。



「市長と語ろう地域の今、これから」と題して移動市長室を66名の参加を得て行いました。子や孫に残したい名田島風景一〇〇選に取りかかりました。改築される名田島小学校校庭の芝生化も決定しました。



平成
24年

平成
23年

山口国体の年で、山口南総合センターが成年女子のバレーボールの会場となり、また、自治会のホームページも立ち上げ、「ふるさとめぐり」のマップも作成しました。



平成24年度の活動総括

今年度は「住んで良かったと実感できる名田島」を基本目標に地域の課題に取り組んでまいりました。

まずは、**情報ネットワークの充実**を目指して、ホームページの拡充で、地元農産物を使ってのレシピ等の紹介をしました。

また、情報の共有手段として、会議の報告書を地域住民に回覧し、広報紙「田園」を3回発行しました。

少子高齢化対策として、世代間交流を行い、校舎の老朽化によって、小学校改築に伴い、魅力ある学校づくりのために校庭の芝生化に取り組むこととしました。

働く親の支援として、児童クラブの設立にこぎつけ、子や孫に残したい名田島風景100選の募集にも、取りかかりました。

多くの人に名田島の魅力ある名勝を知ってもらおうとふるさとめぐりの看板の設置も毎年増やしています。

健康管理対策として、老人クラブと共催で、「夏場の健康管理」と題して濱村川東地域包括支援センター長の講座を行い、またリサイクルマナーの講習会も婦人会と協賛し行ないました。

世代間交流事業として、子ども会等と協力し、どんど焼きを実施しました。

環境づくり対策として、

道路の舗装・用水路の確保と里山の美化整備、交差点改良工事も行いました。

子ども達や地域の人の安全、美しい環境を守るために、ボランティアグループで通学路や河川公園の草刈りも実施しました。

防災対策として、防災設備の充実で、三連コンロを購入し急な炊き出しに備えました。

災害に備えて、通報訓練と避難訓練、今年度は、避難者に名札の発行訓練も行ないました。

消防署より指導していただき、実際に子どもを中心に消火訓練をしました。

5部会の活動実績

総務部会

情報ネットワーク

- ・ホームページの拡充
- ・広報紙「田園」の発行
- ・議会報告書回覧
- ・自治会連合会活動の充実
- ・地域イベントに協賛



生涯学習

ふるさと探訪

- ・ふるさとめぐりマップ標識看板の設置（3か所）
- 子や孫に残したい名田島風景100選
- 通学路安全対策
- ・みまもり隊活動の支援
- 児童クラブの設立（平成25年4月）



見守り隊

子や孫に残したい名田島風景100選



夏場の健康管理



看板周りの草刈り

- 不法投棄禁止看板周囲の草刈り
- 健康講座
- ・夏場の健康管理（老人クラブ共催）
- リサイクルマナーの向上
- ・プラごみ容器包装の出し方講習会（婦人会と協賛）
- 世代間交流事業
- ・どんど焼き、あるけあるけに協賛
- 健康講座（山口県の温泉）

健康福祉部会

生活環境部会

○道路、河川、里道の整備・安全対策推進

- ・道路舗装（向山中）
- ・用水路確保と里道の保全（向山下）
- ・交差点改良工事（新開作西）



新西施工前



新西施工後



向山中施工前



向山中施工後

防災部会

○防災訓練の実施

- ・通報訓練
- ・避難訓練
- ・名札の発行訓練
- ・消火講習会
- ・子ども会等の共催による消火器の使い方



通報訓練



避難訓練



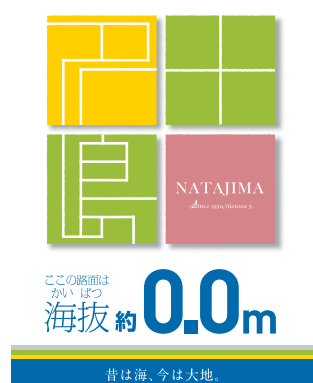
海拔表示を設置しました

名田島地域交流センター

名田島地区の大半は、海面より低い地形を潮受け堤防と排水によって人工的に陸地化した干拓地です。このことが、風水害等に見舞われやすいという宿命と同時に、海拔ゼロメートル地帯という他の地域にはない固有性をもたらししています。

地域交流センターでは、この海拔を新たな地域資源と捉え、名田島の魅力を表現するデザインで表示することによって、住民の皆様の防災意識の向上のみならず、他地域への情報発信ツールとして活用する企画を進めてきました。

そして、東日本大震災から2年目に当たる去る3月11日に、名田島地区の中央部を背骨のように南北に縦断する市道東開作昭和西線沿いの電柱に下図の海拔表示を設置しました。



通じて色とりどりに変化する県内有数の穀倉地帯を「縦横に走る道」をデザイン化したものです。特に「名」の文字は、昭和34年につくられた名田島小学校の校章がモチーフで、先人達の進取の気風あふれる斬新なデザインを受け継いでいます。

また、設置についても直線道路に連続して立つ電柱を活かし、意外性がありながらも、遠視効果とインパクトのあるものになっています。今後様々な地域間交流を図るうえでも有効なランドマークとなるものと思っています。

地域交流センターとしては、今回作成したロゴデザインによって、名田島の良さをアピールする情報発信活動が、更に強力なものになることを期待しています。

今後に向けての地域の思い、取り組み

「第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」

■基本理念

次世代につながる『田園都市』の創造を掲げ、今の子供たちが大人になったとき「自分の子どもを名田島の地で育てたい」と思えるような地域づくりを目指します。

■地域づくりの方向性

- ①緑の大地に感謝する地域
- ②女性が輝いている地域
- ③高齢化社会を楽しむ地域

■活動目標地域振興

- ①喜びを分かち合う名田島
- ②心も体も健康な名田島
- ③安心・安全な名田島
- ④未来に美しい景観を残す名田島

⑤誇りと愛着を持てる名田島



シリーズ③ 史跡 名勝 名田島めぐり



ご存じでしたか？この岩は、「鯨岩」と言います。岩屋山から約1,000m、潟上中学校から同じく1,000m、標高150m 位の所にあります。長さ約20m、高さ約10mの大岩です。



霊光院の五重小塔です。
山口市の有形文化財に
指定されています。
云われは由来看板を見てください。



向山の会館にある
「支那事变出征記念碑」で、
多くの名前が記されています。



年間涸れることのない
「火のみ瀧」



向山三神社

はちまんのおおかみ さんじょしん わたつみのかみ
三神社は八幡大神・三姫神・綿津見神の3つの神が鎮座されています。
又、左右の石碑は、建設当時の由来等が記されています。